

津波避難の心得

津波の発生を察知して、すぐ避難!

以下のような状況では、津波によって大きな被害が発生する可能性があります。浸水のおそれがある場所にいる場合は、ただちに、安全な場所への避難を始めましょう。

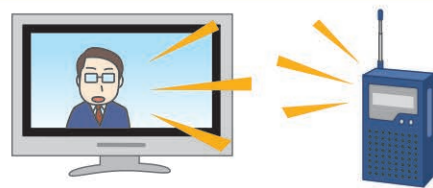
地震の発生

- 震度4以上の地震が発生した時
- ゆっくりとした揺れが長く続く時



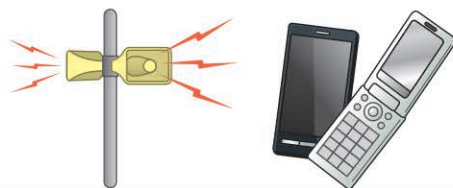
津波警報の発表

- テレビやラジオ、インターネットで津波警報などが発表された時



避難の呼びかけ

- 防災行政無線（サイレンが鳴ります）やエリアメール、緊急速報メールなどの呼びかけがあった時



津波警報・注意報の分類とサイレン音

津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」、「津波警報」、「津波注意報」が発表されます。サイレン音を聞いた場合は、すぐに高台等の安全な場所に避難しましょう。

	予想される津波の高さ		防災行政無線(サイレン音)
	数値での発表	巨大地震の場合の発表	
大津波警報 (特別警報に位置付け)	10m超 (10m<高さ)	巨大	<p>サイレン吹鳴時間</p> <p>3秒 2秒 3秒 2秒 3秒</p> <p>無音時間</p> <p>メッセージ</p>
	10m (5m<高さ≤10m)		
	5m (3m<高さ≤5m)		
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	<p>サイレン吹鳴時間</p> <p>5秒 6秒 5秒</p> <p>無音時間</p> <p>メッセージ</p>
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	<p>サイレン吹鳴時間</p> <p>10秒 2秒 10秒</p> <p>無音時間</p> <p>メッセージ</p>

※和歌山県内で統一したサイレン音です。

津波避難の3原則

群馬大学大学院 片田敏孝 教授 監修

1 想定にとられるな

ハザードマップの津波浸水域は、1つの想定にすぎません。
実際には想定どおりの津波が来るとは限りません。

2 最善をつくせ

次に来る津波は実際どこまで浸水するかわかりません。
その時に考えられる最善を尽くしましょう。

3 率先避難者たれ

まずは自分の命を守り抜いてください。あなたが率先して避難することで、その姿を見た多くの人も避難します。



津波避難先の安全レベルについて

和歌山県では、津波避難先について、安全レベル(1~3)を設定しています。海南市内の各津波避難先の安全レベルは、ハザードマップに記載しています。



- まずは、「レベル3」をめざして逃げてください。「レベル3」に避難する時間がない時は「レベル2」へ。
- 浸水の危険がある地域で「レベル2・3」に避難する時間がない時は「レベル1」に逃げてください。

レベル3 ★★★	浸水の危険性がない地域に、より標高が高くより離れた安全な場所。
レベル2 ★★	浸水想定近接地域で、「レベル3」へ避難する余裕がない場合の緊急避難先。
レベル1 ★	浸水の危険性がある地域で、時間的に「レベル2・3」に避難する余裕がない場合の緊急避難先。